

第41回全日本少年サッカー大会 北海道大会

開催要項

1. 主 旨 日本将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。この趣旨を受けて、公益財団法人北海道サッカー協会として本大会を実施し、第41回全日本少年サッカー大会決勝大会(平成29年12月25日(月)～29日(金))に北海道代表として出場するチームを決定する。
2. 名 称 第41回全日本少年サッカー大会 北海道大会
3. 主 催 公益財団法人 日本サッカー協会、公益財団法人 北海道サッカー協会、公益財団法人 日本体育協会 日本スポーツ少年団、読売新聞社
4. 主 管 公益財団法人 北海道体育協会 北海道スポーツ少年団、小樽地区サッカー協会
5. 後 援 北海道教育委員会、公益財団法人 北海道体育協会、札幌テレビ放送、小樽市、小樽市教育委員会、小樽市体育協会、日本テレビ放送網、報知新聞社
6. 特別協賛 YKK、花王
7. 協 賛 日本マクドナルド、日清製粉グループ、日清オイリオグループ、ゼビオ、サントリー食品インターナショナル
8. 開催協力 モルテン
9. 日程・会場 平成29年10月7日(土)、8日(日)、9日(月・祝)
小樽市望洋サッカー・ラグビー場
7日(土) 代表者会議9:00 開会式9:30 1回戦8試合
8日(日) 準々決勝4試合 準決勝2試合
9日(月・祝) 決勝11:00 閉会式(決勝戦終了後) 3位交流戦
10. 参加資格 (1) 「参加チーム」は大会実施年度に(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。別に定める地区割り当てにより所轄の地区協会が代表と認めたチームであること。
(2) 上記「参加チーム」の構成は単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続して活動していること。
(3) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただしU-6選手の参加は認めないものとする。
(4) 同一参加選手が異なる加盟チームへの移籍後、再び参加することはできない。
(5) 女子選手については(「クラブ申請」を承認された)同一クラブ内の他の「加盟チーム」から参加させることも可能とする。ただし、前項(3)は適用される。
(6) 「参加チーム」及び「参加選手」は、各地区の代表となったチーム・選手とする。当該チームの地区大会への登録選手が16人に満たない場合は、「加盟チーム」内の選手の中から補充することができる。
(7) 「参加チーム」はU-12リーグに参加していること。
(8) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること、また、ベンチ入りするチーム役員の内1名以上が本協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。
(9) 参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。
(10) 「参加チーム」は必ず『傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険)等』に加入していること。

11. 参加チームとその数
- (1) ○札幌ブロック～4チーム、
○道央ブロック(千歳・小樽・空知、北空知)～3チーム、
○道南ブロック(函館・室蘭・苫小牧)～3チーム
○道東ブロック(帯広・釧路・根室・網走)～3チーム
○道北ブロック(旭川・道北・宗谷)～3チーム 計16チームとする
- (2) 本年度の開催地である小樽地区協会には代表杯1を与える。
12. 大会形式
- (1) 16チームによるトーナメント戦を行う。
13. 競技規則
- (公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。
14. 競技会規定
- (1) 競技のフィールド
競技のフィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)50mとする。
その他ペナルティエリア等の長さに関しては8人制サッカールールに準ずる。
(ペナルティエリア:12m ペナルティマーク:8m ペナルティアークの半径:7m)
ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。
※ゴールは競技者が負傷しないように安全に設置しなければならない。
交代ゾーン:自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーンを設ける(ハーフウェーを挟んで3mずつ)
- (2) ボール
モルテン社製『ヴァンタッジオ5000キッズ(F4V5000-R4号球)』とする
- (3) 競技者の数
競技者の数:8名(8名に満たない場合は試合を行わず、得点を0対3として敗戦したものとみなす。試合中に怪我等による人数不足により8人に満たなくなった場合には、そのまま続行する)
交代要員の数:8名以内
交代を行うことのできる数:制限なし(交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。)
- (4) ベンチ入りするチーム役員の数:4名以内
1名以上が(公財)日本サッカー協会公認資格(D級以上)を有すること。
- (5) 審判員
主審、副審(2人)、予備審判の4名で運営する。
- (6) テクニカルエリアは設置する。
※その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を与えることができる
- (7) 競技者の用具・ユニフォーム
(公財)日本サッカー協会のユニフォーム規定(2016年4月1日施行)に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
ただし、今回の規程で追加・変更となった内容のうち、以下は2019年3月31日まで旧規程による運用を許容する。
第5条[ユニフォームへの表示]※該当のみ抜粋
・グローブ・キャップへのチーム識別標章・選手番号・選手名の表示
・両肩・両脇・両袖口・両腰脇・両裾に表示できる製造メーカーロゴマークの幅
(10cmから8cmに変更)
・同一の製造メーカーロゴを帯状に配置する場合のロゴマーク間の距離
選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
ユニフォームへの広告表示については、日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基づくものでなければならず、2017年12月18日(月)までに本協会に承認された場合にのみ認められる。
- (8) 試合時間
① 試合時間は40分(前後半各20分)とする。
ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで):原則10分間
② 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合、いわゆるPK方式で次回戦へ進出するチームを決定する。ただし、準決勝及び決勝戦では10分間(前後半各5分)の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式により勝利チームを決定する。
延長戦に入る前のインターバル:原則5分
ペナルティマークからのキックに入るまでのインターバル:原則1分
③ アディショナルタイムの表示:行う

- (9) 交代の手続き
 ① 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
 ② 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
 ③ 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。
 ④ 交代は、主審、補助審判の承認を得る必要はない。
 ⑤ ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
 ※交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

- (10) 負傷者の対応
 主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。

15. 懲 罰
- (1) 本大会の予選は懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時で退場・退席による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。
- (2) 本大会は、本協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
- (3) 大会規律委員会の委員長は、(公財)北海道サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。
- (4) 本大会期間中に警告を2度受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (5) 本大会期間中において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の措置については本大会規律委員会において決定する。
 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- (6) 本大会諸規定および本記載事項にない事項に関しては、大会規律委員会にて決定する。

16. 大会参加申込
 参加チームは以下の手続きを期日までに完了すること。

- (1) 参加申込書・プライバシーポリシー同意書の提出
 所定の用紙をEメールで申込先A宛に提出する。
 ※申込を受けた地区協会はKICKOFFにて登録状況を確認し、申込先BおよびC宛に申し込みデータを提出すること。Bへはプライバシーポリシー同意書も提出すること。
- (2) 大会参加料(21,600円)の納入 申込締切日までに下記指定口座に納入する。
- (3) 親権者同意書の提出 郵送で申込先B宛に送付する。
- (4) 選手変更・追加登録は、所属地区協会を通じてEメールにて申込み先Bに届け出のこと。
 平成29年9月28日(木)必着。
- (5) 参加申込締切 平成29年9月25日(月) 17:00
- (6) 傷病を理由とする参加選手の変更は認めることとし、別途定める方法にて、平成29年10月2日(月)までに、(公財)北海道サッカー協会へ医師が発行する診断書を添えて提出すること。なお、参加選手数の追加は認められない。

【申込先】

A: 所属地区サッカー協会
 B: 公益財団法人 北海道サッカー協会
 〒062-0912 札幌市豊平区水車町5丁目5-41
 北海道フットボールセンター内
 TEL011-825-1100 fax011-825-1101
 C: 小樽地区サッカー協会
 〒047-0034 小樽市緑2-28-17
 永坂 正 気付 小樽地区サッカー協会 TEL 0134-33-9082
 Eメール ayano217@cocoa.ocn.ne.jp

【大会参加料及び審判不帯同料納入口座】

・大会参加料 21,600円(消費税込)
 ・審判不帯同料 16,200円(消費税込)
 銀行名 北洋銀行 奥沢口支店
 口座名 小樽地区サッカー協会 理事長 柴田靖士
 口座番号 普)3259563

17. 参加料 21,600円

18. 選手証 各チームの登録選手は、原則として本協会発行の選手証(カードの選手証または電子選手証)を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。
※電子選手証とは、本協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・大会申込書を印刷したもの、またスマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す
19. 組合せ 平成29年9月25日(月) (公財)北海道サッカー協会において行う。
(公財)北海道サッカー協会 HP情報・4種にて確認のこと。
20. 帯同審判員 (1) 出場チームは(公財)日本サッカー協会審判員(2級以上)を帯同させること。帯同する審判員の氏名、資格等を参加申込書に記載すること。
(2) 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとする。(監督が帯同審判員を兼ねることはできない)
(3) 帯同できない場合は、不帯同料として16,200(税込)円を大会参加料と同時に納入すること。
21. 監督会議 平成29年10月7日(土) 9時より大会本部において行う。監督は必ず出席のこと。欠席の場合は本大会への参加を停止することもある。
22. 開会式 平成29年10月7日(土) 9時30分より大会本部前において行う。選手・監督は全員参加すること。参加しない選手は大会への参加を停止することもある。
23. 閉会式 平成29年10月9日(月・祝) 決勝戦終了後 大会本部前において行う。準決勝まで残ったチームの選手・監督は全員参加することとする。
24. その他 (1) 優勝チームは道協会のホームページで写真入りで紹介する。
(2) 大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本大会への出場を停止する。
(3) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は本大会実運営委員会(主管地区協会理事長、競技委員長、審判委員長などで構成)において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあるので留意のこと。
(4) 全国大会への出場権は北海道大会で優勝チーム・選手に与えられる。当該チームの北海道大会での登録数が16名に満たない場合は、同一クラブ内の選手から補充することができる。

以上